



はりがえ ひでお
張替 秀郎 教授

～ 血液内科学分野 ～

講義題目

「**変わるもの、変わらないもの**」

【略歴】

1986年 3月	東北大学医学部医学科卒業	2013年 4月	東北大学病院副病院長
1986年 4月	国家公務員等共済組合連合会水府病院		(併任～2023年3月)
1988年 4月	宮城県心臓血管予防協会仙台循環器病センター	2017年 4月	東北大学総長特別補佐
1989年 4月	東北大学大学院医学研究科研究生		(併任～2023年3月)
1991年12月	東北大学医学部附属病院医員	2019年 4月	東北大学病院検査部長
1992年 7月	岩手県立宮古病院		(併任～2023年3月)
1992年10月	東北大学医学部附属病院医員	2020年 4月	東北大学病院臨床研究推進センター長
1994年 2月	東北大学大学院医学研究科博士号（医学）取得		(併任～2022年3月)
1994年 4月	米国ロックフェラー大学血液生化学研究室研究員	2022年 4月	東北大学病院メディカルITセンター部長
1996年 4月	国家公務員等共済組合連合会水府病院		(併任～2023年1月)
1998年 4月	東北大学医学部附属病院助手	2023年 4月	東北大学副学長
2002年 2月	東北大学医学部附属病院講師		(併任～2026年3月)
2007年 7月	東北大学大学院医学系研究科教授	2023年 4月	東北大学病院長
2010年 6月	東北大学未来医工学 治療開発センター教育・人材育成部門長 (併任～2012年3月)		(併任～2026年3月)
2011年 4月	東北大学病院輸血部長 (併任～2012年9月)	2023年 4月	東北大学経営協議会委員 (併任～2026年3月)
2012年10月	東北大学病院輸血・細胞治療部長 (併任～2024年3月)	2024年 4月	東北大学理事 (併任～2026年3月)
		2024年 4月	東北大学共創戦略センター長 (併任～2026年3月)
		2026年 3月	退職

【研究業績等の紹介】

張替秀郎教授は、内科学、血液学、臨床免疫学に関する臨床および研究に注力し、多くの実績を上げた。

特に血液学をその専門とし、基礎研究では赤血球の分化機構・ヘム合成に関する論文を多数発表し、米国血液学会においては heme・iron 委員会委員として本領域の研究発展に貢献した。特に臨床に資する研究として、ヘム合成異常により発症する遺伝性鉄芽球性貧血のモデルを作製し、その病態を明らかにした。また、希少疾患である本疾患の厚生労働省研究班班長としてコホート研究・ゲノム研究を主導し、その研究成果により本疾患が厚生労働省の指定難病として認定を受けた。

臨床においては、教授就任以降、血液・免疫科科長および血液内科科長を併任し、東北大学病院の診療の責任者として宮城県・東北地区の血液疾患・リウマチ膠原病患者に対し最新の医療を提供した。また、東北地区で唯一の造血幹細胞事業拠点として造血幹細胞移植を推進するとともに、免疫細胞療法をはじめとした新たな医療の導入と提供に尽力した。さらに、数多くの企業治験や全国規模の臨床研究に携わるだけでなく、研究責任者として複数の医師主導治験を主導し、新たな医薬品の開発に貢献した。

教育においては、50名を超える医学博士を輩出し、それぞれ各専門学会の学術賞、日本学術振興会育志賞、東北大学総長賞などの賞を受けている。また、血液専門医、リウマチ専門医などの専門医を多数育成し、地域医療における専門診療の充実に貢献した。

学会活動では、日本内科学会副理事長（東北支部代表、第123回学術集会総会長）、日本血液学会副理事長（東北支部支部長、第83回学術集会総会長）をはじめ、日本鉄バイオサイエンス学会理事（第38回学術集会総会長）、日本検査血液学会理事（第14回学術集会総会長）、日本造血・免疫細胞療法学会理事、日本がん治療認定医機構理事などの要職を歴任。加えて、日本臨床検査医学会評議員、日本輸血・細胞療法学会評議員、日本臨床腫瘍学会協議員として活動し、内科学・血液学の発展のために尽力した。また、日本学術振興会研究センター専門研究員、厚生労働省難病対策委員会委員長、AMEDスマートバイオ創薬事業評価委員長等を務めた。宮城県においては、宮城県献血推進協議会会長を長年務めるとともに、宮城県医療審議会（病院部会委員長）として、地域医療構想の策定に中心的な役割を果たした。